

楳ノ基本ニ鋼板ヲ張り錨ヲ辿り落ツルニ適當ナル

傾斜ヲナサシムベシ

五十八、蒸汽操舵機

上甲板に機関室圍壁ノ後端ハ操舵機室ヲ設ケ監督

者ノ承認セル製造者ノ蒸汽操舵機ヲ置クベシ。此操舵機

ハ船橋上ノ操舵輪ニヨリテ動カスコトヲ得ルノ装置トナシ舵

柄弧ト操舵輪機トハ円棒鎖ニ滑車發條ニヨリテ連絡ス

ルモノトス。鎖ノ發條ハ豫備品ヲ要ス。

五十九、「ジャーモールゼング」

舷檣ノ上端ニハ船ノ首尾ヲ通シ又船首樓・船尾樓・舷側

甲板ノ上部ニ沿ヒ「クープモールゼング」ヲ附スベシ

六十、船名

船首兩舷及船尾ニ金鍍真鍮製日本及羅馬字ノ

船名及船籍港名ヲ取付クベシ。其大サハ適當ノモノタルベシ

六十一、「デーリータンク」

徑三呎半、長八呎ノ鋼製「デーリータンク」ヲ圍壁ノ上部ニ置

キ之ヲ二ツニ分チ清水及海水ヲ入レ「ローバーフローハイプ」空氣

管排水管等ヲ備ヘ料理室浴室及便所ニ通ズル諸管

ヲ完備スベシ

船首樓甲板ニモ徑三呎長五呎ノ「タンク」ヲ備ヘ同様ノ